ARケミカルセッター®

IS-news

Vol.3　インジェクション型接着系アンカーの施工方法

　インジェクションタイプは優れた性能を持っていますが、正しい施工をしなければその性能を発揮することはできません。今号では一般的な施工方法をご紹介しますが、ご使用前には必ず製品ごとの取扱説明書、施工要領書、MSDSをご覧ください。

1. 使用方法

ミキシングノズルをカートリッジに装着する。

カートリッジをディスペンサーに装着する。

トリガーを引き、樹脂を吐出する。

2. 施工方法

1.母材穿孔

定位置にドリルで穿孔する。

・ドリルビット径が適切か確認する。
・ドリルビットには穿孔長のマーキングをする。

2.孔内清掃

ブロアーとブラシで交互に孔内を清掃します。

・孔内清掃が不十分だと強度が低下するので、確実、丁寧に行う。
・水孔での使用ができない製品の場合は、必ず水分を取り除く。

3.樹脂注入

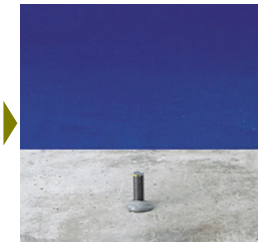
空気を巻き込まないように孔底から注入する。

・使用初めの樹脂は主剤と硬化剤のバランスが崩れているため、必ず捨てショットを行う。
・ノズルの先端が孔底まで届かない場合は、ノズル先端に延長ノズル(市販のチューブ等)を取り付ける。

4.ボルト埋込み

静かに回しながらボルトを孔底まで押込む。

・可使時間内に埋め込む。
・ボルトは空気を巻き込まないように挿入する。
・孔底まで押込んでも樹脂が孔からあふれない場合は、ボルトを引抜き、再度樹脂注入する。



5.硬化養生

硬化養生時間内はボルトに触らない。

・可使時間から硬化時間の間はボルトを動かさない。
・可使時間、硬化時間は製品ごとに異なるので事前に確認しておくこと。

次号ではカプセル型接着系アンカーとの使い分けについてご説明します。

※“IS”とは当社のインジェクション型接着系アンカーの総称で、“Injection Set-up”の略です。

発行元
旭化成ケミカルズ株式会社　ファスニング営業統括部
〒130-6591
東京都墨田区錦糸3-2-1　アルカイースト16F　Tel.03-5637-6630　Fax.03-5637-6658